

WebDB Forum 2015 L^AT_EXtemp

東工 大^{1,a)} 情報 理子²

概要 : WebDB Forum 2015 論文集のテンプレートファイルです .

How to Use L^AT_EXTemplate for WebDB Forum 2015

DAI TOKO^{1,a)} RIKO JOHO²

Abstract: Template for WebDB Forum 2015 Proceedings.

1. はじめに

このテンプレートは情報処理学会 L^AT_EX スタイルファイル^{*1} の DOS 用を基に作成されました . webdbf2015.tex がソースファイルで , webdbf2015.pdf が原稿の作成例です . webdbf2015.tex は SJIS でエンコードされておりますので , 環境に合わせて変更して下さい . なお , 英文アブストラクトを省略される方は , webdbf2015omitAbst.tex (原稿作成例は webdbf2015omitAbst.pdf) , 英文アブストラクトと英文タイトル・英文著者名を省略される方は webdbf2015omitAll.tex (原稿作成例は webdbf2015omitAbst.pdf) をご利用ください . また , 英文で原稿を執筆される方で , 日本語タイトル・日本語著者情報・日本語アブストラクトを省略される方は webdbf2015eng.tex (原稿作成例は webdbf2015eng.pdf) をご利用ください .

2. 英文アブストラクト等の省略について

和文で原稿を執筆する場合 , 英文タイトル , 英文著者名 , 英文アブストラクトは省略することが可能です . いずれかを省略する場合は対応するコマンドをコメントアウトし , 必要に応じて調整してください .

2.1 英文アブストラクトのみを省略する場合

`\begin{eabstract}` ~ `\end{eabstract}` の部分をコメントアウトして下さい (webdbf2015omitAbst.tex 参照) .

2.2 英文タイトル , 英文著者名 , 英文アブストラクトを省略する場合

クラスの指定に `noauthor` オプションを追加して `\documentclass[submit,techreq,noauthor]{ipsj}` として下さい . さらに , `\etitle{}` , `\begin{eabstract}` ~ `\end{eabstract}` をコメントアウトして下さい (webdbf2015omitAll.tex 参照) .

3. 英文のみでの原稿執筆について

クラスの指定に `english` オプションを追加して `\documentclass[submit,techreq,english]{ipsj}` として下さい (webdbf2015eng.tex 参照) .

4. おわりに

本テンプレートに関する問合せは WebDB Forum 2015 実行委員会^{*2} までお願いします . 情報処理学会には問い合わせないようにお願いします .

¹ XX 大学
XX University

² YY 株式会社
YY Company

^{a)} dai.toko@titech.ac.jp

^{*1} <http://www.ipsj.or.jp/journal/submit/style.html>

^{*2} webdb2015inquiry@ubi.eeddept.kobe-u.ac.jp